
中期経営計画2028 (2026-2028年度)

2026年1月8日

目次

1. はじめに P. 2

2. 「中期経営計画2025」振り返り P. 3

3. 「中期経営計画2028」中長期戦略 P. 6

4. 「中期経営計画2028」中期経営計画の位置づけ P. 7

参考：理念・ビジョン・目標体系 他 P. 8

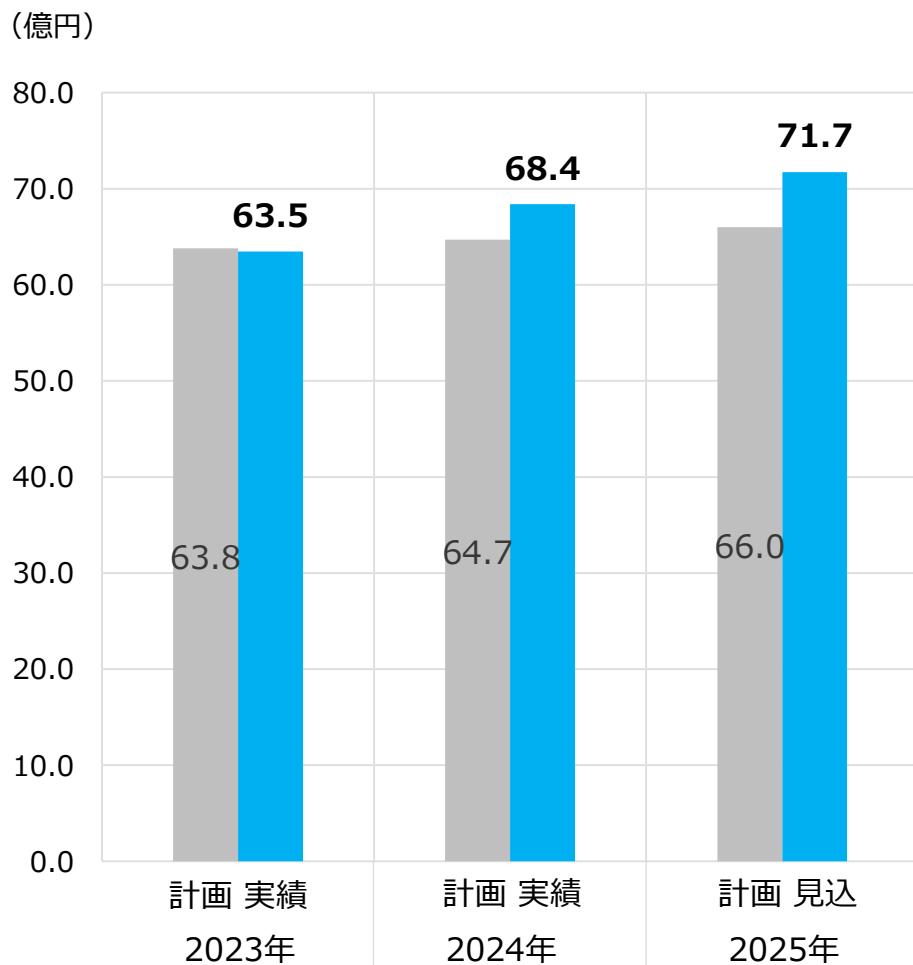
このたび、中筋組では2026年度から2028年度の3ヵ年を対象とする「中期経営計画2028」を策定いたしました。

中筋組は、創立70周年の節目となる2023年度に、創立80周年に向けた「中期経営計画2025（2023-2025）」を策定し、**80周年ビジョン・経営方針である「～地域No. 1企業を目指して～」**の実現に向けて、2025年度を最終年度とし、「社員一人一人の地域課題への主体的な挑戦を通して、地域貢献及び自己能力開発を実現する～」ことを基本姿勢に掲げ、会社と社員一丸となって事業活動における**「意識改革」**に取り組んでまいりました。

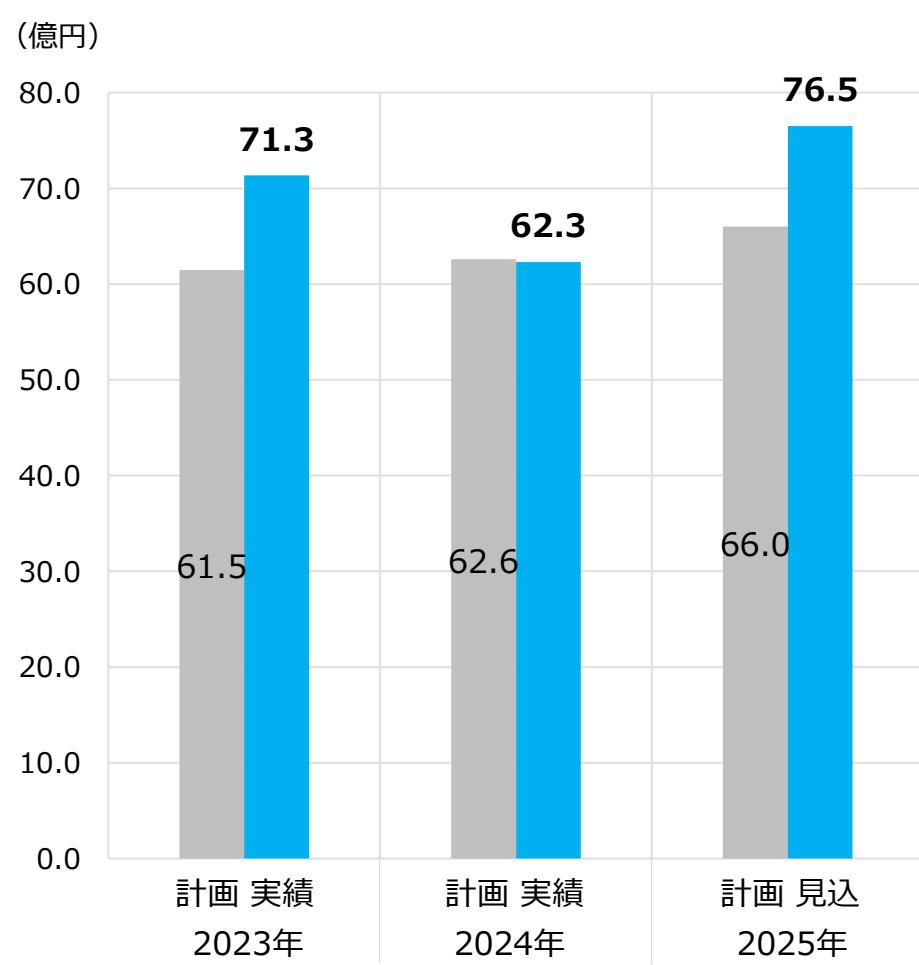
前中計では、80周年ビジョン・経営方針の実現に向け、「1.強固な事業基盤の構築」、「2.地域密着の体制構築」、「3.社員が誇れる企業の追求」の3つのテーマを設定し、「技術力の強化」、「事業領域の拡大」、「人材採用・定着」、「働き方改革」、「DXの推進」を基本方針として、各部門に裁量を持たせた主体的な課題推進とともに、全社的に統一が必要な事項については横断的に取り組む体制を構築し、着実な成果をあげております。その結果、一部未達の重点課題は残るもの、前中計目標である2025年度売上高66億円については達成を見込み、取り組みの成果が着実に表れております。

本計画では、前中計の振り返りを踏まえ、創立80周年、さらに2035年度に売上高100億円達成を見据え、新たな方針および課題を掲げました。2026年度から2028年度の3ヵ年を**「成長基盤整備期間」**と位置づけ、事業基盤を一層強固なものにするとともに、持続的な成長を実現し、「中筋グループは社会のために存在し、社会と共に繁栄する」という理念の具現化を目指してまいります。

受注高 計画対比



完工高 計画対比



2 – 2. 「中期経営計画2025」概要 振り返り

事業環境

公共事業

- インフラ整備や防災・減災対策を中心に国土強靭化計画が推進されているが、島根県内の投資額は横ばいで推移

民間事業

- 商業施設、工場等を中心とした非住宅建築に対する民間投資額は堅調に推移

経営基盤

- **若手人材の採用競争激化**
- **働き方改革の推進**
- **ICT技術、DX活用の加速**

主な社内実績

プラス要因

- 公共案件を堅調に受注
- 体制強化および現場の努力による変更協議
- 営業力を活かした民間特命・大型案件、同一施主様からの複数案件受注
- 上記により、目標を上回る完工高・営業利益を計上

マイナス要因

- 港湾大型事業の遅延により案件延期
- 中期経営計画の課題対応に進捗差あり

今後の展望

公共事業

- 老朽インフラおよび公共施設の整備・維持・更新が中心
- 大型新規事業計画の創出

民間事業

- 非住宅建築の民間投資は堅調に推移する見込みだが、物価高・人件費高騰により競争激化、着工遅延・計画見直しの懸念

経営基盤

- 人材確保・定着・育成・賃上げが不可欠
- 働き方改革の推進および生産性の向上
- ICT・DXに加えて生成AIの進化
- 競争力不足企業は淘汰されるリスク

主な継続課題

建設事業

- 事業エリア・領域、下請工事の拡大検討
- 拡大に伴う施工・組織体制の整備
- 繼続的な特命・大型案件の受注
- 住宅部門の方向性検討
- 協力業者への支援拡大

経営基盤

- 遠隔地案件に対応する人材確保
- 若手人材の確保・定着
- 人材育成・技術力・生産性の向上
- 経営基盤の強化
- 新規事業の活性化

1

技術力の強化

- ・若手技術者の育成/資格取得の支援
- ・協力会社との関係強化

- ・若手技術者の資格取得者増加、新たな領域の技術取得者増加、新技術に触れる場を一部整備済み
- ・協力会社との際立った関係強化実施できず

2

事業領域の拡大

- ・事業エリアの拡大/工種の拡大
- ・製販一体の営業体制の構築

- ・一部新エリアの受注、工種の拡大達成、今後の継続および体制整備等が必要
- ・営業体制の再構築済み、さらなる改善余地あり

3

人材の採用 ・定着

- ・インターンシップ（以下、「IS」）の強化
- 中途採用の推進
- ・人事評価制度の見直し

- ・IS、中途採用強化を実施するも計画未達
- ・人事評価制度の見直し未達のものの、福利厚生、待遇面等の見直し実施

4

働き方改革

- ・部門間交流・若手社員交流の機会の増加
- ・現場部門のサポート体制強化

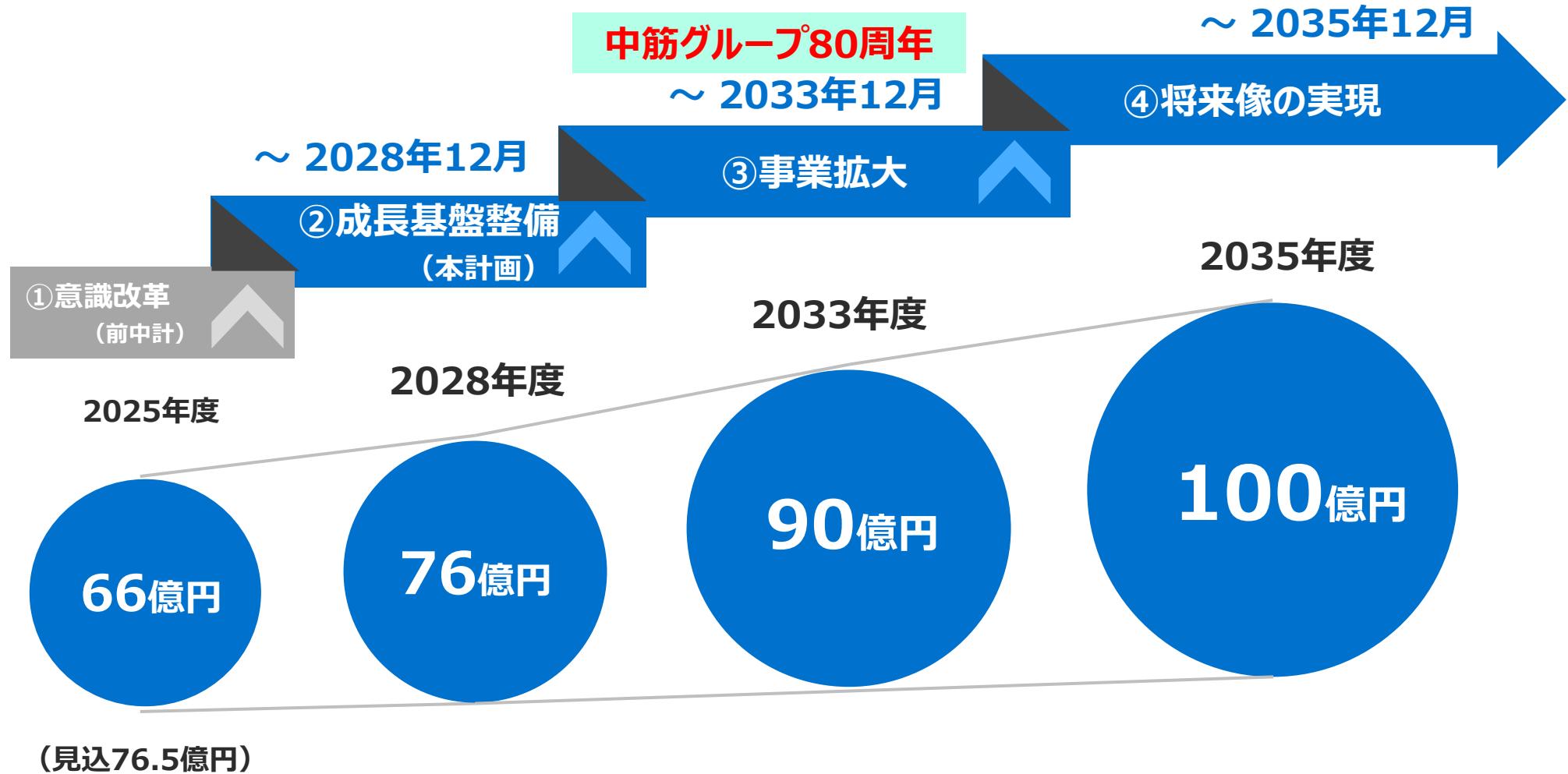
- ・若手社員親睦会を結成し、若手社員交流の場を創出
- ・体制強化および現場サポートする部門を新設

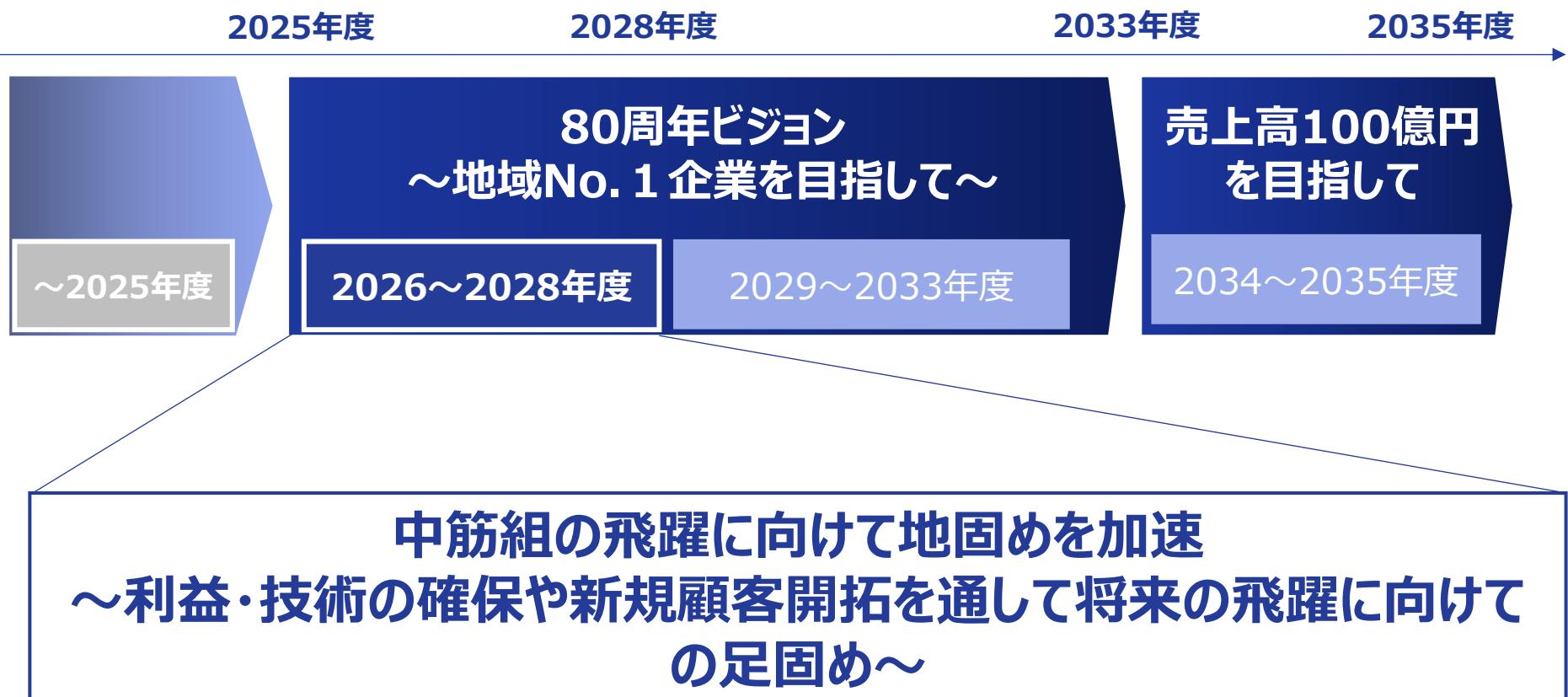
5

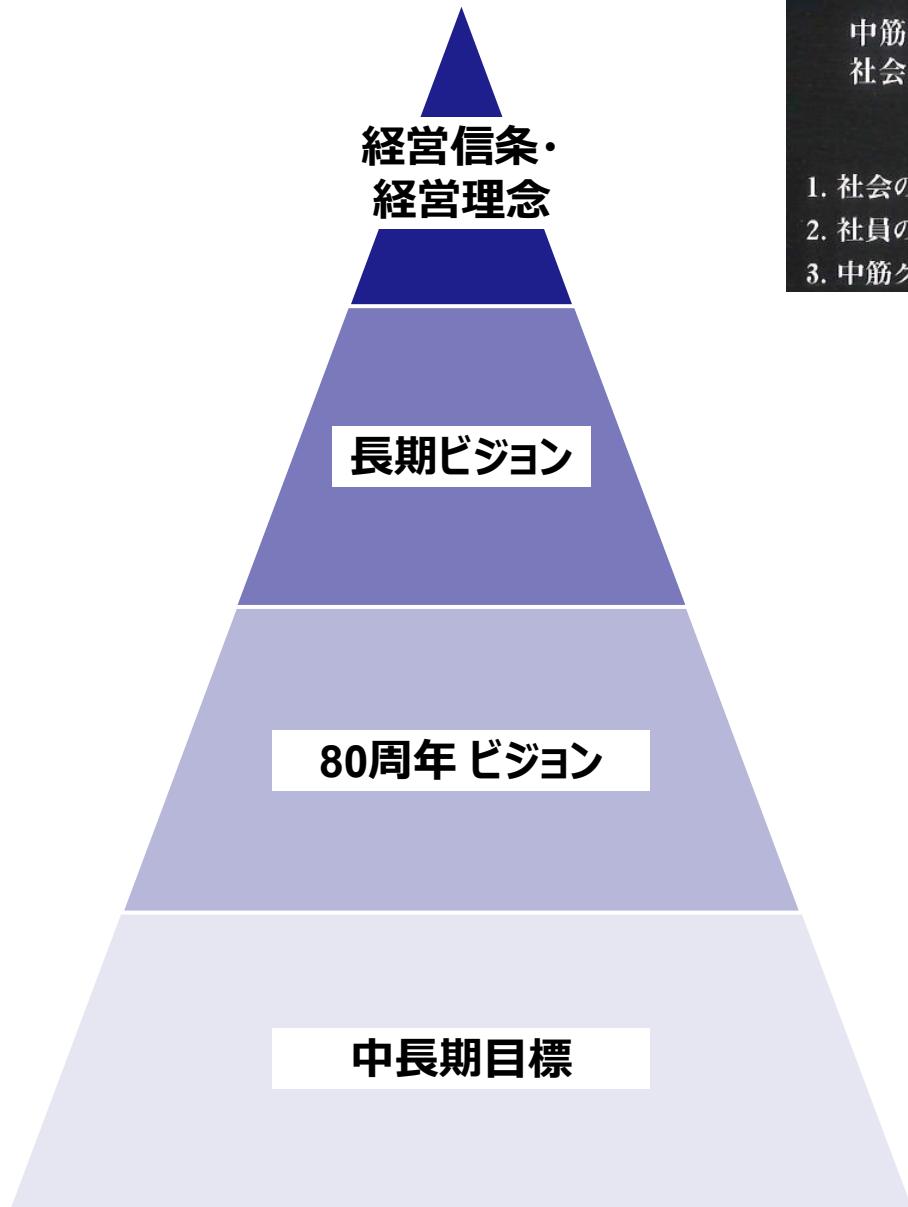
DXの推進

- ・ICT技術の活用による業務の効率化
- ・社員のITリテラシーの向上

- ・DX推進部を新設
- ・BIM/CIM、ICT技術の強化







■経営信条
中筋グループは社会のために存在し
社会と共に繁栄する

■基本理念

1. 社会の利益につながる誠実な仕事をする
2. 社員の生活向上と安定に努力する
3. 中筋グループの持続的成長に全力をつくす

- 中筋組は社会と共に繁栄するために、事業環境の変化に合わせた経営と技術の最先端を追求する
- 中筋組は島根東部エリアのトップクラスの建設企業として、地域の発展を牽引する存在になることを目指す
- また、グループ会社においても、島根東部エリアのその業種の中のトップ集団を目指す

地域No. 1 企業を目指して

地域課題解決への挑戦

～地域No. 1企業を目指して～

1

強固な事業基盤の構築

- 事業領域の拡大、最先端の技術の獲得による、強固な事業基盤の構築

2

地域密着の体制構築

- 不動産の開発～建築～運営のワンストップサービスによる、地域密着の体制構築

3

社員が誇れる企業の追求

- 地域、従業員、協力会社との協創による、地域から求められ、社員が誇れる企業の追求

1

技術力の強化

- 若手技術者の育成/資格取得の支援
- 協力会社との関係強化

2

事業領域の拡大

- 事業エリアの拡大/工種の拡大
- 製販一体の営業体制の構築

3

人材の採用・定着

- インターンシップの強化/中途採用の推進
- 人事評価制度の見直し

4

働き方改革

- 部門間交流、若手社員交流の機会の増加
- 現場部門のサポート体制強化

5

DXの推進

- ICT技術の活用による業務の効率化
- 社員のITリテラシーの向上



美しい地球、渡します次なる世代へ

nakasuji
NAKASUJI GROUP

株式会社 **中筋組**

株式会社 **ナカサン**

株式
会社 **中筋商事**

まるなか建設株式会社

株式会社
エスティック

有限会社 中筋ファーム

本資料に記載された業績見通しは、資料作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載されている方針等についても、同時点において決定されたものです。今後、事業環境や当社の状況の変化に応じて、戦略や経営方針を柔軟に変更する可能性があります。また、実際の業績は、さまざまな内外要因により変動するため、これらの見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご承知ください。

【お問い合わせ】
株式会社中筋組 経営企画部

本資料の著作権は株式会社中筋組に帰属します。